

# 田原市ビーチボールバレーローカルルール

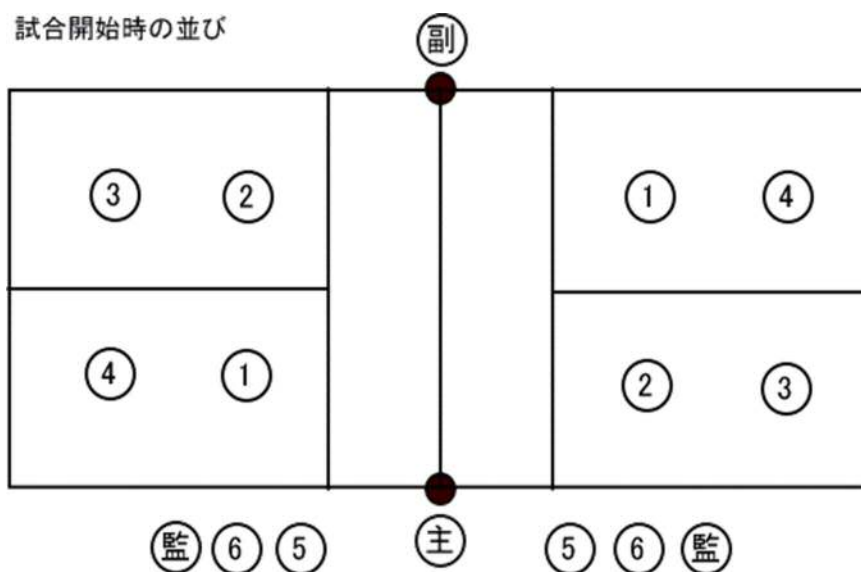
## ●競技規則

日本ビーチボール協会認定の「ビーチボールのルール」を準用し、一部「田原市ビーチボールバレーローカルルール」で行うものとします。  
ネットの高さは180cm、コートはバドミントンコート（ダブルス）を準用する。

## ●勝敗・進行

- ・ 1セット9点の3セットマッチで2セット先取したチームの勝ち。
- ・ 1セットの最大得点は11点。
- ・ 第3セットは、いずれかのチームが5点先取したとき、再びコートを交替する。しかし、サービス及び選手のポジションは交替時の状態のまま続行する。
- ・ 両チームのキャプテンは試合の前にジャンケンを行い、ジャンケンに勝ったキャプテンはコートを選ぶかサービス権を取るかのいずれか一方を選べる。
- ・ 第1セット以外の各セット開始時のサービスは、前のセットで最初にサービスを行わなかったチームが行う。

図-1 試合開始時の並び



## ●サービス（サーブ）時の注意点

- ・ サービスは1本とする。
- ・ サービスは前衛右の位置にあるプレイヤーが打つ。（主審の吹笛により、サービスエリアから、手または腕で相手コートへ行う。）
- ・ サービスはラインを踏まず、アンダーサーブとする。
- ・ 1歩踏み出しの範囲でサービスをする。（踏み出さなくてもよい。）
- ・ サービスボールがネットに触れたときは、サービス権を相手チームに移します。
- ・ サービス時のプレイヤーの位置（図-1）
  - ① サービスを打つとき2人ずつ2列に位置する。このとき前後左右のポジションを守る。
  - ② サービスを打った（手から離れた）後は、各プレイヤーは味方コートのどこに動いてもよい。

図-2 サービスのインとアウト

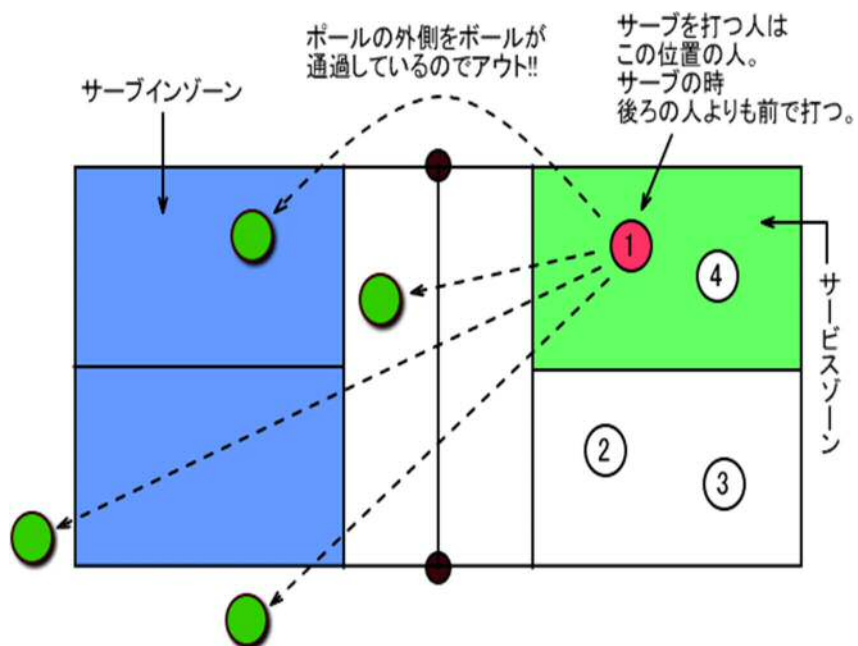


図-3 インとアウトの判定基準

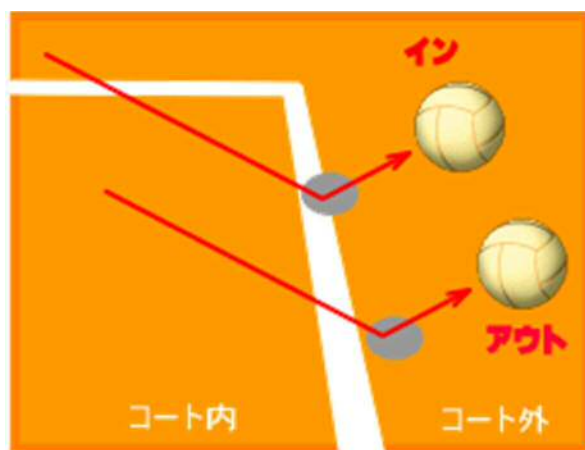
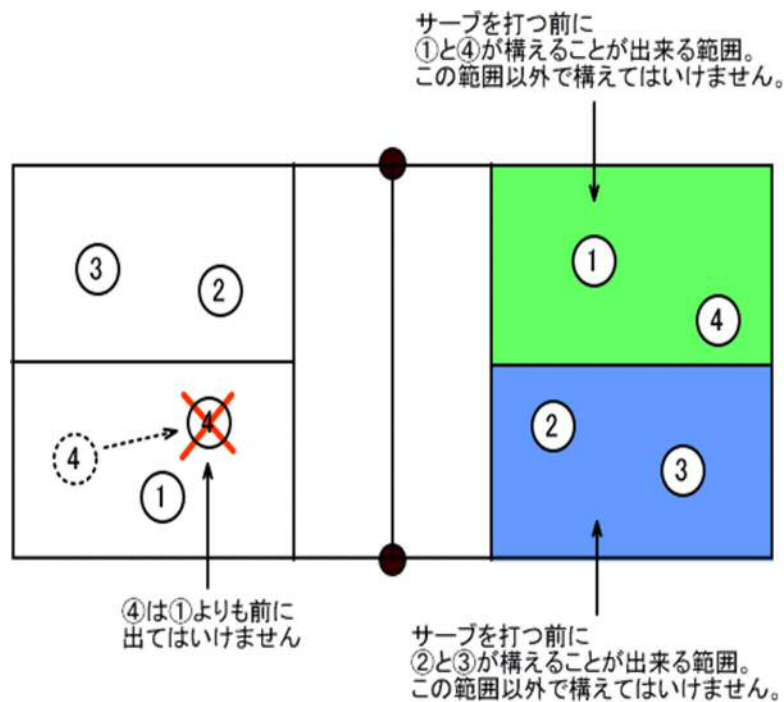


図-4 サービス時の選手の位置



### ●ローテーション

- ① サービス権を得たチームは直ちに時計回りに位置をひとつずつ移動する。
- ② セット開始時のローテーション順は、セット終了時まで守らなければならない。
- ③ チームは、セットの開始前に副審の確認を受け、前のセットとプレイヤーの交代または位置を自由に変更することができる。

### ●プレイ中の注意点

- ・身体の前より下の部分では返してはならない。
- ・ブロッキングは1回のプレイと数えない。(残り3回のプレイで返せばよい)

### ●サービスの反則

ジャンプサービス	両足が床に着いてない状態で行うサーブ
サイドサービス	身体の側面から、ボール1個分以上離れた位置で行うサーブ

### ●その他注意点

アウト・オブ・バウンズ	ボールがコート外の床面、物体に触れたとき。 <u>このときボールがラインに触れたかどうかで判断する。</u>
ホールディング	プレイ中ボールを静止することなくはね返さなければならない。
オーバータイムス	相手コートには3回以内にボールを返さなければならない。
ドリブル	1人のプレイヤーが2回続けてボールに触れてはいけない。
オーバーネット	<ol style="list-style-type: none"> <li>① アタック及び、ブロック時にはネットを越えて相手コート上にあるボールに触れてはいけない。</li> <li>② 手がネットを越えても、ボールに触れなければ反則にはならない。</li> <li>③ アタックまたはブロック後に手がネットを越えて出ても反則とはならない。</li> </ol> <p>※オーバーネットは、ボールに触れた身体の位置で判断するため、手がネットを越えていて、顔でブロックした場合は、顔がネットを越えていなければ反則とならない。</p>

タッチネット	<ul style="list-style-type: none"><li>① プレイ中、プレイヤーは身体または衣服のどの部分もネットに触れてはならない。(アンテナ及び支柱も同様)</li><li>② 正当な位置にいるプレイヤーに、風のためネットが膨らんで身体に触れても、タッチネットの反則は成立する。</li><li>③ ボールがネットに当たった影響により、自然にネットが相手プレイヤーの身体に当たった場合は反則にはならない。</li></ul>
--------	--